

第2回校區別協議会代表者会議 議事概要【横田地域 質疑等・各校区の状況等共有】

日 時：令和3年7月27日（火） 19：00～20：50

場 所：横田庁舎3階大集会室

参加者：校區別協議会代表者18名、町・教育委員会5名

1. 本日の提供資料

- ・第1回代表者会議以降に各校区からいただいた意見、要望一覧
- ・通学方法検討資料（7/26現在）
- ・仁多地域統合小学校（仮称）建設候補地の取扱について
- ・前倒し統合を希望される場合の取扱について
- ・当面のスケジュール（7/26現在）

2. 町から各校区への説明、お願い

資料「第2回校區別協議会代表者会議【町から各校区への説明、お願い】議事概要」をご参照ください。

3. 質疑等

発言者	発言内容
八川校区	<p>当面のスケジュールについて、7、8月の間に地域で話し合うことは、地域に任せるということでしょうか。</p> <p>地域への説明など、校區別協議会でどこまで背負えばいいのかということの具体的なスケジュールも含めてお示しいただきたいです。この問題で地域がバラバラになるのは避けたいと思っています。教育委員会か他の課でも構いませんが、会の進行や様子聞きという形でサポートをいただきたいです。</p> <p>仮に全地区が再編に賛成するという結論を出した時には、4校で閉校式が行われるのでしょうか。</p>
横田校区	<p>意向とりまとめについて、どういった基準で決定をしていけばいいか、ある程度の指針があったほうが良いと思います。</p>
教育委員会	<p>9月の3回目の代表者会までに教育委員会から校區別協議会で協議してほしいことを今回個別にお願いすることはありません。教育委員会からお示したことについて、もっと明確にさせていただかないと校区として決められないということがあれば、そのやり取りはさせていただきます。</p> <p>意向とりまとめについては、一律のルールも含めて、検討したいと思います。</p> <p>全ての校区が同意されたときの閉校式については、令和7年4月に新しい小学校となりますので、全ての学校が閉校になります。</p>

鳥上小校区	<p>通学方法や複式学級、特別支援学級の支援体制など、保護者さんが今のところで判断に足りる材料がないというのが実際のところです。</p> <p>令和7年4月以前に早期に統合した場合に、新しい小学校を作っていく議論には入れないのでしょうか。校区の変更または転校の手続きになるのでしょうか。</p> <p>跡地利用については、ランニングコストを町が見るのか。地元が負担するのであれば、それだけの大きな施設は必要ないわけです。それを統合協議の中でしか出せないということでは、地域で判断をしていいのかわかりません。</p> <p>鳥上は真剣に考えているということをご理解いただいて、より具体的な協議の場に入っていただきたいと思います。</p>
教育委員会	<p>令和7年以前に統合した場合、新統合小学校に関わる協議については、同意された校区には全て参加いただきたいと考えています。その中で新統合小学校に向けた要望や意見をいただく機会を確保させていただきます。</p>
馬木小校区	<p>協議会に第三者のファシリテーター的な立場の方を配置していただきたいです。</p> <p>通学については、奥出雲交通さんでの計画が進行しない、人がいないという現状はわかりますが、町から小学校再編の検討を依頼されるのであれば、具体的な資料をご提示していただきたいです。</p>
教育委員会	<p>通学が安全にできるということが最優先事項であることは認識しています。引き続き具体的な資料をお示しできるよう進めていきたいと考えています。</p> <p>協議会運営をする方を、第三者でお願いしたいということについては、持ち帰って検討します。</p>
馬木小校区	<p>令和4年3月の時点でこの再編に同意する、見送る、という意見がまとまらない場合はどのようにすればいいのでしょうか。多数決や協議会の会長が決めるといった方法をとる必要があるのでしょうか。</p> <p>令和3年2月教育委員会文書「Q再編に反対した校区はどうなるのか A（省略）ただし、令和8年、令和9年での再編は学校運営上困難であるため、令和10年以降での再編協議再開となることが予想されます。」について。統合小学校に合流するタイミングは令和10年からになるのか、令和10年以降に協議会を再開して、早くて令和11、12年以降の合流となるのでしょうか。</p>
教育委員会	<p>令和7年4月に新統合小学校ができて、令和8年でまた新しい形になるのは、子供の気持ちや教職員の異動、学校運営等多くの面で負担があるため、最低でも統合後2年間は再度の再編統合は避けたいと考えています。例えば令和7年4月を見送った場合に、令和9年又は10年での再編が予め分かっていたら、可能であると考えています。</p>

	<p>最終的にどのように決めるかについては、保護者さんのお考えを重視していただきながら、地域としてはどんな形がいいかお話し合いをしていただきたいと思います。地域のお考え保護者のお考えを校区の中で話し合っていただく機会として、本日は各校区の進捗状況を情報交換する時間をとっています。今後どのようなことが課題になるのか、どのように進めているのかということをお話し合っていただきたいと思います。教育委員会の考え方については校区の中で説明をする機会を設けていただければ対応させていただきます。</p> <p>地域行事への子どもたちの参加については、6時間目の後すぐに下校するということや学校運営において5時間目で終わらせるということも考えられます。</p>
横田小校区	再編するまでに最低2年必要という理解でよろしいでしょうか。
教育委員会	2年は想定として、複式学級の解消と計画的な職員配置のために必要な期間です。再編の意向確認後、令和4年から開校まで3年間かけているのは、服装、校歌及び校章等や閉校式、開校式などの付随する問題があるため、3年間という期間をとっています。
横田小校区	スケジュールについて直接聞くと理解できますが、各地区のみなさんからも早急ではないかという意見も聞いています。このような説明も各地区でされてはいかがでしょうか。
馬木小校区	学力的に横田高校に入れない子どもさんや不登校の子どもさんは町内では居場所がなく、町外に出ている現状があり奥出雲町では対応が遅れていると思います。通常学級で対応するLDやASD、HSPの子どもさんがいると思いますが、20人くらいで多様な意見に触れてという統合の目的からは議論の外に置かれています。2009年の検討委員会の答申での支援が必要な子どもさんへの対応について確認したいです。
教育委員会	2009年の答申については奥出雲町のホームページの中に奥出雲町の教育というページがあり、その中の小学校再編というページに、2009年の答申から時系列で資料を掲載させていただいております。
馬木小校区	結論だけではなくて、議事録という形ですか。
教育委員会	<p>議事録はありません。できる限り資料は公表するようにしています。</p> <p>特別支援学級ではなく通常学級に所属しているけど、なかなか集中が続かないような子どもへの支援として、奥出雲町では特別支援員という町で雇用したスタッフを各学校に配置しています。</p>
馬木小校区	制度としてあることは知っていますが、人員設置だけでは不十分で、納得できません。ICT機器を使って、LDの子どもさんでも地元の横田高校行けるくらいの学びができるようにしてあげないといけないと思います。この議論では通常の学級で意見を交わして学びが成立する子どもさんをイメージした議論になっているところを心配しています。個人情報をも理由

	<p>に公開されませんでした。通常、学級の中で支援が必要な子どもさんがどれくらいいるかを示していただいて、そこにも視点を置いて協議をしていきたいと思っています。</p>
教育委員会	<p>特別支援については、それぞれの子どもの状況に応じた教育が一番必要ですが、残念ながらそれだけ数の専門的な教員を配置するということができていない状況があります。小さな学校で手厚い指導は受けられても、手厚く指導する人間が専門家ではない状況が多くあります。</p> <p>特別な支援が必要な子への通級指導教室が町内では横田中学校と三成小学校にあります。奥出雲町では学校間の距離の関係で通級の担当者が各小学校を回っています。統合すれば移動の時間がなくなり、横田と仁多とそれぞれ配置することができればそこで賄うことができます。</p> <p>特別な支援が必要な子どもの状況については、十分な資料がないかもしれませんが、今後検討します。</p>
鳥上小校区	<p>前倒し統合の場合の編入とは、全く横田小学校のやり方を変えないで編入をするということでしょうか。</p> <p>例えば鳥上が前倒しをするときに横田小学校と話し合う場も町として用意されないのか、校区変更または転校として、処理されようとしていることは間違いないでしょうか。</p>
教育委員会	<p>編入の扱いについては、新しい学校を立ち上げるということではなくて、横田小学校に入ることになります。手続き上、校区の変更をすることになりますが、転校にはなりません。</p> <p>前倒し統合をする場合には、関係の学校の職員やPTAの役員さん等で事前にいろいろな話し合いや協議をさせていただきます。</p> <p>直近であれば亀嵩小学校と旧高田小学校が統合されましたが、様々な事前協議の中で例えば通学方法へのご要望等をいただいて、ある程度実現しています。</p>

4. 各校区の状況等共有

横田小校区	<p>横田の協議会は保護者だけでスタートしており、地域の方々の声を吸い上げていく必要があるということを確認しています。</p> <p>横田地区からお配りした資料では、アンケートを実施しています。全体で70%強の回答がありました。町のホームページの認知度が非常に低かったということが課題としてあがっていますので、ぜひお力を入れていただきたいと思っています。自由記述欄では、保護者の方は統合に対して賛成の方が多かった一方で、通学、学童のことがどうなるのかという意見が多数あがっていたと思います。また、個別の意見として「新統合小学校校舎として、現横田小学校を利用するものであって、横田小学校に合併するのではないということを確認できないでほしい。横田地域の保護者に優</p>
-------	---

	<p>劣はない平等な話し合いを希望する」という趣旨の意見がありました。こちらの意見については当協議会で重要視しております。当協議会の中では、決してそういった優劣をつけるつもりはないですし、新しい学校を建てるということで認識は共有できていますが、横田地区は非常に保護者が多く、周知することが難しい現状であることを各地区の方にご理解いただきたいです。</p> <p>横田地区の保護者さんが他地区の保護者さんからあなたは横田だから考えなくていいねということを言われているという事実もあります。なるべくこのようなことを減らしていきながら、これから担っていく子供たちの教育がどうあるべきかということに主眼を置いて横田小学校区では議論を進めて参りたいと思っております。</p>
鳥上小校区	<p>鳥上としては、地域、保護者一体となってこの件に関しては粛々と進めています。</p> <p>地域と保護者未就学児の親全てに関して情報共有をした形で話し合いを進めています。何とか皆さんもそういった形で地域、保護者一体となって、お話を進めていただければと思います。</p>
八川小校区	<p>八川地区としては、統合ありき、単独存続ありきではなく中立な目線で統合の良い点、悪い点、単独存続の良い点、悪い点について協議員さんとグループ討議を重ね意見と共有を図っています。</p> <p>第1回は協議員さんの小学校再編に関してのお気持ちをお聞きしました。統合小学校への期待、統合後の様々な不安など今後の協議を進めるうえでの課題が見えてきました。また学校再編の形として、隣接小学校との連携など4校統合以外の方法も模索し、地区協議の進め方を決める有意義な初回になったと思います。</p> <p>第2回では、小規模校に対しての率直な感想を委員の皆さんにお聞きしました。肯定的な感想、不安に思う感想それぞれありました。そして4校統合に関してグループ討議する場では、協議員さんの中でも同意に賛成の方もおられますが、教育委員会からの統合案をそのまま受け入れることに対して、不満不安を抱えておられる協議員の保護者さんが多数おられることが分かりました。</p> <p>その中で、統合に同意すると結論付けても、来年度以降の統合協議にかなりの摩擦を残しかねないと危惧しています。統合後の現校舎の活用方法は、八川以外の地区でも重大な関心事であると思います。校舎を有効活用する施策を我々住民が考えることも大切ですが、町や教育委員会でも地域活性化に対する施策の検討も必要ではないかと思っております。現行の4地区小学校の良いところを活かした、より良い統合案を示されるよう、教育委員会としても早い時期にでも見直しができる部分があるのではないかと考えております。各地区の真摯な協議に水を差さないよう、町、町教育委員</p>

	<p>会に対する質問や要望に、誠意ある回答を切望します。</p> <p>ここにおられる多くの方が、地域に根付いた各種団体の役員をされている方だと思います。そのうえで再編協議会の各地区の運営に多大な労力と時間を費やされていると思います。そのことにも目を向けていただき、中立的な立場で協議会運営を人的、事務的にサポートしていただけるよう、最後に申し上げたいと思います。</p>
馬木小校区	<p>来年の3月までに再編への意向をまとめるスケジュールですが、これからの教育という点でAIやICTなどを使った地方の小学校の在り方が始まったばかりで、それを見るためには来年の3月まででの結論は早いと思います。</p> <p>他の実例を調査しており、ある小学校では、小学校10人程度規模でもスクールバスを用意して、帰りは2便を出しているそうです。このような情報を、個人的に調査し協議会の中でフィードバックしていきたいと考えています。</p>